

ガラスは、その特性を活かし、様々な分野で活躍しています。

ガラス食器、窓ガラス、蛍光灯、ブラウン管や液晶ディスプレイなど、ガラスは沢山ありますが、ガラスびんとは成分や製造方法が少しずつ異なります。現在、ガラスを使用する産業は、住宅、自動車、生活用品などの分野をはじめ、情報通信、医療、バイオなど、さらに広い分野での利用が拡大されています。

ガラスの用途

●建築分野



窓ガラス・ガラスウール



住宅の断熱



東京ドーム
(グラスファイバー製天井)

●船舶・車両分野



自動車用ガラス



車両用ガラス



FRP製ボート
(グラスファイバー強化プラスチック材)

●生活用品分野



ガラスびん



ガラス食器



照明用ガラス

●情報通信分野



TVブラウン管用ガラス



携帯電話



プラズマ液晶ディスプレイ

●その他の分野



医療用ガラス



放射線遮へい用ガラス(病院)



太陽電池



ガラス製ハードディスク



光ファイバー



マイクロレンズ

※写真提供:ガラス産業連合会

生活用品分野で使われる主なガラスの種類

ソーダ石灰ガラス

成形が容易で化学的耐久性に優れていることから、ガラスびんやガラス食器などの生活用品や窓ガラスなど、多くの用途に使われているガラスです。歴史上最初につくられたガラスもソーダ石灰ガラスと考えられています。



クリスタルガラス

高級なガラス食器や装飾品などに多く使われていて、鉛クリスタルとして知られています。軟らかくて重いのが特徴で、ソーダ石灰ガラスに比べて光沢があり、カット模様を入れると、キラキラとよく輝きます。



耐熱ガラス

ほうけい酸ガラスとも言われ、急な温度変化に強いガラスです。ティーポットやサイフォン、フラスコやピーカーなどの耐熱用品に使われ、硬くて軽いのが特徴です。直火用・電子レンジ用などに分けられます。



ガラスびんのリサイクルには、 びん以外のガラス製品を混ぜないで!

生活用品分野のガラスは、見た目には、ガラスびんに似ていますが、成分も溶ける温度も異なります。ガラスびんと同じ組成の食器も、碎けるとクリスタルガラス製品と区別がつかないため、リサイクルするときには、しっかり分別することが大切です。



ガラスびん以外で リサイクルされているガラス製品

蛍光灯や電球は、ほとんどが不燃ごみとして回収されていますが、一部の自治体や家電量販店などで、リサイクルを進めているところがあります。またテレビのブラウン管は、家電リサイクル法により、販売店が有料で引き取り、リサイクルしています。